

施設一体型小中一貫やまと学園の新設に先行した 4つの小学校の再編の時期と場所の検討結果が示されました。

子どもたちの協働的な学びの充実を図るため、施設一体型小中一貫やまと学園の新設に先行して大和地域の4小学校が1つの小学校に再編されます。



◎以下、市の報告をもとに記載しています。

再編の時期 令和7年4月1日

👉 検討のポイント

●できるだけ早期の再編

早期の4小学校の再編や複式学級の解消を望む意見が複数挙がりました。子どもにとってより良い協働的な学びの環境が確保されるよう、スピード感を持った検討・対応が望まれています。

●カリキュラムの調整期間

準備委員会の報告において、複式学級のカリキュラム調整に時間を要することから、最短でも令和7年度の開始とすることが適当であるとの意見がありました。

再編の場所 現在の岩田小学校

👉 検討のポイント ※詳細は裏面をご覧ください

●スクールバスの運行時の安全性

学校への進入、学校敷地内での乗降や回転が安全にできるか。
また、スクールバスの学校敷地内への進入時に、通学児童の歩行が妨げられることはないか。

●学習環境・施設の状況

校舎や運動場など、児童の学習環境や施設の実用性が高いか。

再編の場所についての検討内容



検討の考え方

校地面積等から三輪小学校・岩田小学校が候補地として設定され、様々な角度から比較・検討が進められました。

✓「安全・安心」の視点

- 2校とも既に学校運営が行われており、地域に慣れ親しまれているため、地域の見守りなどの観点では安全面での課題は少ないと考えられます。

✓「通学・交通」の視点

- 児童が一か所に通うことになるため、登下校時の交通量の確認や新たな通学路の検討等が必要になります。
- 新たにスクールバスの利用が見込まれるため、スクールバスの学校への進入経路や乗降・回転場所、徒歩通学児童の安全性の確保などについて検討が必要になります。
- 三輪小学校は、周辺道路や学校敷地内での乗降スペースの状況などから、スクールバスを運用する上で安全の確保が懸念されます。
- 岩田小学校は、比較的多くの児童のスクールバス利用が見込まれるものの、周辺道路の交通量が比較的少ないことに加え、スクールバスの乗降・回転を安全に行うことができる十分なスペースがあります。

✓「施設・設備」「学習環境」の視点

- 2校とも設置基準は満たしていますが、岩田小学校は、有効活用面積が比較的広い状況となっています。

今後の流れ

分野ごとに6つの部会に分かれて、具体的な協議を進めていきます。

学校運営部会

校名、校歌、校章・校旗
など

P T A部会

組織、規約、行事
など

通学部会

通学路、スクールバス、
地域見守りなど

地域部会

地域交流活動、
地域との連携など

教育課程部会

教育課程、日課時程
など

事務部会

備品整理、移転計画
など

今年度から、やまと学園の新設に向けた具体的な事項についての協議が本格的にスタートします。積極的な議論を通じて、子どもたちにとって、より良い学園となるよう取組を進めてまいります。
引き続き、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

